



## 都市公園の活用について

石井 祐太（市政の見える化党）

動画は  
こちらから



市民アンケートでは、1日過ごせる公園や複合遊具などを求める声が多く、現在の公園配置や整備の在り方に課題があると考え質問した。

**Q** 市内の公園配置や遊具整備について、見直しを検討する必要性があると認識しているか何う。

**A** 計画的な維持管理に努めているが、一部計画通り進んでいない現状があり、見直しの検討が必要であると考えている。

**Q** 大型公園へ機能を集約し重点的に整備する考え方について、市の見解を何う。

**A** 公園の規模や立地に応じた役割を踏まえた整備を進めてきた。今ある公園が快適に利用できるよう維持管理していく。

**Q** 和田公園プールの管理費と利用実態をどのように評価し、今後どのように位置づけていくのか何う。

**A** 利用状況や管理費を踏まえ、老朽化への対応も含め今

後の在り方を検討していく。

**Q** 公園全体を俯瞰した施設再編や予算配分について、どのように検討していくのか何う。

**A** 関係課が連携し必要な予算を確保し、適切に維持管理していく。

**Q** 交流人口創出を見据えた公園活用について、市の考えを何う。

**A** 公園の魅力向上を含め、優良事例を調査・研究していく。

**Q** 市民参加によるワークショップなどを開催し利用者の声を取り入れていくということは検討できないか何う。

**A** 市民の意見を聞くということは重要だと捉えている、提案も含め、意見を聞く機会をつくっていききたい。

他に「電子図書館」「公共施設の予約」について質問しました。



## 人口減少問題について

須藤 有紀（みどり21）

動画は  
こちらから



**Q** 過去5年間の人口減少の進行と昨年度489人減少した要因は。

**A** 死亡数の増加に加え、出生数の減少が主な要因である。転入・転出理由の多くが就職・転職だが、市内企業の人手不足に加え、賃金水準の高い都市部への流出も社会動態に影響していると分析している。昨年度の人口が489人減の要因は外国人の転入者数が大幅に減少したことと考える。

**Q** 令和7年版こども白書ではライフデザインを学んだ方が若者の結婚願望が高くなり、理想の結婚年齢を24から29歳と回答する割合が最も高くなるという。学ぶ機会を設ける考えは。

**A** ライフデザインを学ぶ機会を設けることは重要な要素の一つである。総合戦略の取組に位置づけ、「中学生ふるさと未来塾」や「思春期健康教育」などを実施している。

**Q** 人生を俯瞰的に考えるライフデザインの実施は。

**A** 中学校の教育課程で新たなものを取り入れる余裕はないが、今実施しているキャリア教育の内容充実が可能。校長会等を通して菊川市教育委員会から働きかけていく。

**Q** ふるさと住民登録制度利用の考えは。

**A** 積極的に取り組みたい。同制度のモデル事業にも応募した。

**Q** 本制度では人手不足の企業や農業現場のアルバイトも地域活動の一つとしてカウントできるといふ。民間との連携について考えは。

**A** 民間事業者と連携することで人手不足のニーズを可視化し、地域活性化や地域経済の担い手確保に繋がる可能性があるかと認識している。モデル事業を注視しつつ検討していく。



ふるさと未来塾（出典：菊川市公式 Facebook）